

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)の運用状況

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

2020年3月6日

- 「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」の主要投資対象である優良好配当・日本株式マザーファンド(以下、マザーファンド)は、毎年2,5,8,11月の**3ヵ月毎**に組入銘柄の見直しと組入比率の調整(リバランス)を行います。前回(2019年11月)のリバランスから3ヵ月が経過した**2020年2月**にリバランスを行いました。
- 当レポートでは、足元のマーケット動向、設定来の運用成績の振り返り、組入銘柄の紹介、リバランス状況について、ご報告します。

【11月リバランス以降の市場動向】

11月下旬から12月上旬にかけて、英国の総選挙や米国による対中関税第4弾の発動期限などの重要イベントを控え、国内株式市場は一進一退の動きとなりました。中旬に入ると、米中が通商協議の「第一段階」の合意に達したことや米中の経済指標がともに好転したことを好感し、国内株式市場は上昇しました。

1月に入ると、米国とイランの間で緊張が高まり、下落して始まりました。その後、双方が報復攻撃に対して慎重な姿勢を示し、反発に転じました。しかし、下旬には新型コロナウイルスの感染拡大懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落基調となりました。

2月上旬には、中国の対米関税の一部引き下げ決定などにより、一時値を戻しました。しかし、新型コロナウイルスの感染が各国に広がり、世界経済や企業業績への先行き不透明感が急速に高まったことなどから、株価は、下旬には大きく下落しました。

【決算が低調な銘柄が多く、直近約3ヵ月は参考指数を下回るパフォーマンス】

これまでのマザーファンドのパフォーマンスを振り返ります。**設定から11月リバランスまで(期間①→②)**と**11月リバランスから2月リバランスまで(期間②→③)**で、JPX日経インデックス400(以下、JPX400)との差が大きく異なっています。両期間で状況が一変した要因を、組入銘柄のパフォーマンスを基に分析しました。

	時点①	時点②	時点③	期間騰落率		
	2019/9/26	2019/11/20	2020/2/19	①→③	①→②	②→③
マザーファンド	10,000 円	10,847 円	10,177 円	1.77%	8.47%	-6.18%
JPX400	14,498.97	15,104.75	15,015.94	3.57%	4.18%	-0.59%
差				-1.80%	4.29%	-5.59%

(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

期間①→②では、JPX400が+4.18%にとどまる中、マザーファンドの保有銘柄では、第2四半期決算の上振れや株式公開買付け(TOB)などにより20%以上上昇した銘柄が、6銘柄ありました(下表参照)。一方、マザーファンドに組み入れていた50銘柄のうち、JPX400を上回った銘柄数が27、下回った銘柄数が23であり、際立った差にはならず、一部銘柄の大幅な株価上昇が、マザーファンドの基準価額を引き上げた主な要因となっています。

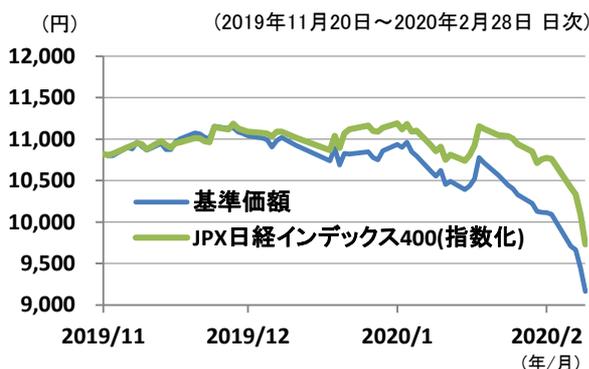
コード	銘柄名	株価上昇率	上昇理由
4508	田辺三菱製薬	62.80%	三菱ケミカルホールディングスによるTOB
4523	エーザイ	37.17%	アルツハイマー病治療薬の新薬承認を申請
5393	ニチアス	32.48%	2Q決算の上振れ、増配も発表
4689	Zホールディングス	25.57%	2Q決算の上振れ、LINEとの経営統合の発表
6952	カンオ計算機	23.56%	2Q決算の上振れ
1719	安藤・間	20.72%	2Q決算の上振れ

(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

11月リバランス以降の基準価額と参考指数の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※JPX日経インデックス400は参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。
※JPX日経インデックス400は2019年11月20日の基準価額と等しくなるように指数化しています。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所)Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

**優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式**

期間②→③では、JPX400が0.59%下落した中、マザーファンドの保有銘柄では、20%以上下落した銘柄が2銘柄ありました(下表参照)。TPR(6463)は、20年3月期第3四半期の累計連結営業利益が前年同期比26%減の大幅減益となり、通期予想を下方修正しました。ブイ・テクノロジー(7717)は、同期の通期連結経常利益が前年比67%減となる予想を発表し、今期の年間配当を160円→120円に減額修正しました。他にも低調な決算を発表した銘柄の下げが大きく、50銘柄中37銘柄が、JPX400を下回りました。

コード	銘柄名	株価下落率	下落理由
6463	TPR	-21.30%	3Q決算発表時に今期予想利益を下方修正
7717	ブイ・テクノロジー	-20.00%	3Q決算発表時に今期予想利益を下方修正、減配も発表

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

このように、**設定来の基準価額は、組入銘柄の業績要因で市場平均を上回った時期や下回った時期がありました。**現在は、企業業績を取り巻く外部環境の悪化や不安定な市場環境により、業績が下振れて株価が下落する銘柄が出やすい状況になっていると考えられるものの、新型コロナウイルスの感染拡大がピークアウトし、経済活動が正常化するなど外部環境が改善した場合には、繰越需要の顕在化などにより業績が上振れる銘柄も増えてくるものと予想されます。

【銘柄紹介：三菱瓦斯化学(4182)(業種:化学)】

予想配当利回り：4.28%(2020年2月28日時点)

三菱瓦斯化学は、11月リバランスで新たにマザーファンドの構成銘柄となり、2月リバランスの後も継続して組み入れられています。

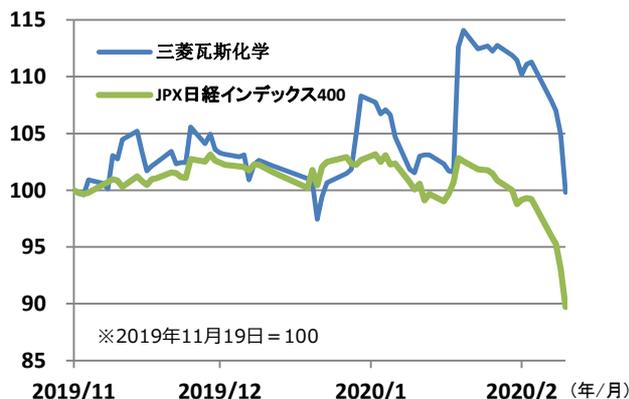
同社は「天然ガス系化学品」、「芳香族化学品」、「機能化学品」、「特殊機能材」の4つのカンパニーを柱に、基礎化学品からファインケミカル、機能材料まで、独創性の高い製品を提供しています。主な製品に天然ガスを原料としたメタノールやアンモニア、漂白剤や酸化剤に使われる過酸化水素、電子産業に欠かせないプリント配線板用積層材料などがあります。また、脱酸素剤「エージレス®」を世界に先駆けて商品化したことでも知られます。

2020年2月5日に第3四半期決算を発表し、4-12月期の営業利益が前年同期比で31.2%減と大幅に落ち込みました。しかし、光学樹脂ポリマーの生産能力増強などが奏功し、10-12月期の営業利益は7-9月期と比べると31億円の増益となったことで、来期への期待が市場で広がりました。

また、同社は2015年度から2019年度まで**5期連続で配当金額を増やしたほか、2020年1月には13億円以上の自社株買い**を実施し、株主還元への意欲を示しています。

三菱瓦斯化学の株価とJPX日経インデックス400の推移

(2019年11月19日～2020年2月28日 日次)



(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

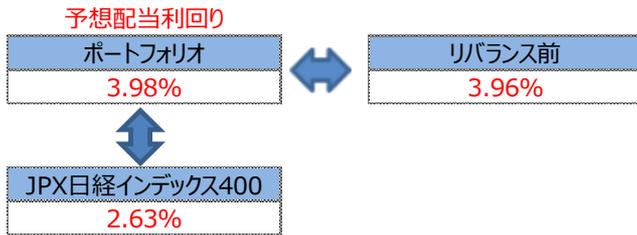
■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

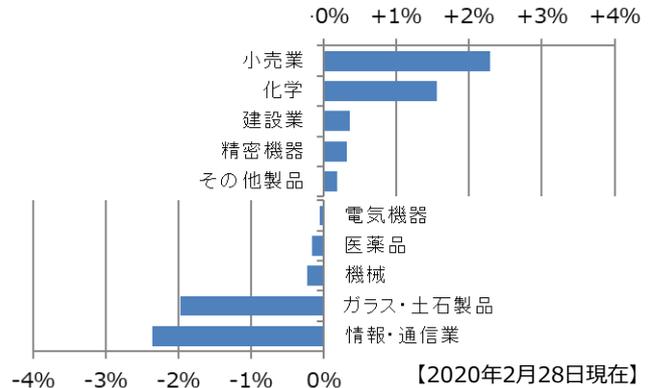
【リバランス実施状況】

2月17日に取得した財務データや予想配当利回りデータに基づき、18日から組入銘柄の入替えと投資比率の調整を行いました。

この結果、小売業、化学などの組入比率が上昇した一方、情報・通信業、ガラス・土石製品などの組入比率が低下しました。ポートフォリオの予想配当利回りは、リバランス前後ではほとんど変わりませんでした。JPX400との差は1.3%以上あり、11月のリバランス時よりも拡大しています。



業種別構成比の変化



※グラフは組入業種のマザーファンドの純資産総額に対する比率の変化を表し、変化幅上位・下位5業種のみを示しています。
※ポートフォリオの予想配当利回りは、組入銘柄の加重平均です。
※リバランス前のポートフォリオを保持した場合と、実際のポートフォリオを比較したものです。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

ファンドの状況

【2020年2月28日現在】

設定来基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※基準価額は設定日前営業日を1万口当たりの当初設定元本としています。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

予想配当利回り分布



マザーファンド	
株式組入比率	98.1%
短期金融商品その他	1.9%
組入銘柄数	50 銘柄
予想配当利回り(加重平均)	4.0%
JPX400利回り(加重平均)	2.6%
日経平均利回り(加重平均)	2.2%

優良好配当・日本株式ファンド	
基準価額	9,165 円
残存元本	11,202,926,520 口
純資産総額	10,267,210,706 円
マザーファンド組入比率	99.5%
実質株式組入比率	97.6%
短期金融商品その他	2.4%

組入銘柄数の上位10業種		
順位	業種名	組入銘柄数
1	建設業	10
2	化学	7
3	電気機器	7
4	輸送用機器	6
5	サービス業	4
6	機械	3
7	情報・通信業	3
8	精密機器	2
9	小売業	2
10	他6業種	各1

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

【2020年2月28日現在】

マザーファンドの組入銘柄一覧

	銘柄コード	銘柄名	業種		銘柄コード	銘柄名	業種
1	1719	安藤・間	建設業	26	5975	東プレ	金属製品
2	1720	東急建設	建設業	27	6113	アマダホールディングス	機械
3	1801	大成建設	建設業	28	6302	住友重機械工業	機械
4	1808	長谷工コーポレーション	建設業	29	6448	ブラザー工業	電気機器
5	1812	鹿島建設	建設業	30	6463	TPR	機械
6	1821	三井住友建設	建設業	31	6503	三菱電機	電気機器
7	1861	熊谷組	建設業	32	6641	日新電機	電気機器
8	1878	大東建託	建設業	33	6724	セイコーエプソン	電気機器
9	1951	協和エクシオ	建設業	34	6728	アルバック	電気機器
10	1959	九電工	建設業	35	6877	OBARA GROUP	電気機器
11	2121	ミクシィ	サービス業	36	6902	デンソー	輸送用機器
12	2124	ジェイエイシーリクルートメント	サービス業	37	6988	日東電工	化学
13	3116	トヨタ紡織	輸送用機器	38	7202	いすゞ自動車	輸送用機器
14	3738	ティーガイア	情報・通信業	39	7261	マツダ	輸送用機器
15	4042	東ソー	化学	40	7270	SUBARU	輸送用機器
16	4182	三菱瓦斯化学	化学	41	7313	テイ・エス テック	輸送用機器
17	4185	JSR	化学	42	7606	ユナイテッドアローズ	小売業
18	4202	ダイセル	化学	43	7717	ブイ・テクノロジー	精密機器
19	4206	アイカ工業	化学	44	7731	ニコン	精密機器
20	4246	ダイキョーニシカワ	化学	45	7751	キヤノン	電気機器
21	4521	科研製薬	医薬品	46	7867	タカラトミー	その他製品
22	4704	トレンドマイクロ	情報・通信業	47	8227	しまむら	小売業
23	4732	ユー・エス・エス	サービス業	48	9201	日本航空	空運業
24	5108	ブリヂストン	ゴム製品	49	9437	NTTドコモ	情報・通信業
25	5393	ニチアス	ガラス・土石製品	50	9744	メイテック	サービス業

※赤字は、2月のリバランスで新たに組み入れた銘柄

JPX日経インデックス400の著作権等について

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所（以下、総称して「JPXグループ」といいます。）並びに株式会社日本経済新聞社（以下、「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。

「JPX日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て「JPXグループ」及び「日経」に帰属しています。

当ファンドは、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)
追加型投信／国内／株式

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.364%（税抜1.24%）
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)